

作新学院大学女子短期大学部「紀要」投稿の手引き

本手引きは、「作新学院大学女子短期大学部紀要」に適用する。

1. 紀要の発行

紀要は原則として年1回、3月に発行する。

2. 原稿の募集期限

紀要原稿の募集期限は、毎年10月末日とする

3. 投稿資格

投稿する者は、本学専任教員および非常勤教員に限る。また、共同執筆の場合は本学以外の者を含むことができるが、第一著者は本学教員でなければならない。なお、本学教員以外からの特別寄稿および本学教員の推薦による投稿を受けることがある。これら推薦による投稿の場合は、形式その他について紀要委員会の審査を必要とする。

4. 投稿編数

単独の著者、または第一著者として投稿できる編数は、原則として1編とする。

5. 原稿の受理

原稿は未発表のものに限る。この原稿は本手引きに従っており、直ちに印刷できる状態になっているものを受理する。

6. 使用言語と字数

原稿の本文に用いる言語は、日本語、英語、仏語、中国語を標準とする。頁数は、印刷時の頁数で20頁（日本語で約2万5千字、英語で約5万字が標準）以内。図や表を含む場合などもこの範囲内とする。これを超える場合、予算等の諸事情により、超過頁分については執筆者負担とすることがある。その場合は、個人研究費を充当することができる。

7. 掲載論文の著作権

掲載論文の著作権は、作新学院大学女子短期大学部に帰属する。

8. 原稿の部数

原稿は、1部はコピーして著者が保管し、原本を紀要委員会に提出する。また、論文をワープロ等で作成した場合には、フロッピーディスク等で原稿のデータも提出する。

9. 原稿の様式と書式

原稿用紙の形式等は問わない。ワープロを使用する場合、行間はダブルスペース以上とする。

10. 原稿の書き方

原稿には、(イ) 表題、(ロ) 著者名、(ハ) 欧文表題、(ニ) 欧文著者名を記入した所定の用紙を添付するものとする。本文は、教員の専攻分野が多岐にわたるため、特に厳密な取り決めはしない。各専攻分野の学会誌等の規程に準ずるものとする。

11. 別刷

別刷は1論文につき50部とする。50部を超えて別刷を必要とする場合は、希望部数（50部を含む）を、紀要投稿申し込み用紙に朱書きすること。なお、超過分については個人負担とするが、個人研究費を充当することができる。

12. 校正

校正は原則として、第3校までを著者が行い、校了とする。校正は印刷のミスについてのみ行うものとし、本文や図・表を変更することは、原則として認めない。